

Case Study

番組宣伝支援システム「番宣組」を クラウドと仮想ストレージにより安定運用

クラウド上で番組宣伝支援システムを運用して業務を効率化
オレガ社の「VVault」を活用して低コストなアーカイブも実現



株式会社TBSテレビ
<http://www.tbs.co.jp/>



Innovative point

ニフティクラウド導入のポイント



コスト バランス

長期運用が前提となる業務システムにおいて、高額/高スペックな機器を購入する必要がなく、OSなどの更新費も不要なため、過剰投資を抑えられる。



安定性と 信頼性

国内のデータセンターで運用されているため、サービスの品質、信頼性が高い。「VVault」を活用することで、安定したバックアップも実現可能。



豊富な 利用実績

複数のTV局やメディアで番宣や放送向けシステムの基盤として安定運用を継続しているため、その知見やノウハウを活用できる。



株式会社TBSテレビ
URL <http://www.tbs.co.jp/>

所在地 〒107-8006 東京都港区赤坂5丁目3番6号
TBS放送センター

株式会社TBSテレビ
情報システム局システム開発部
高橋 知大 氏



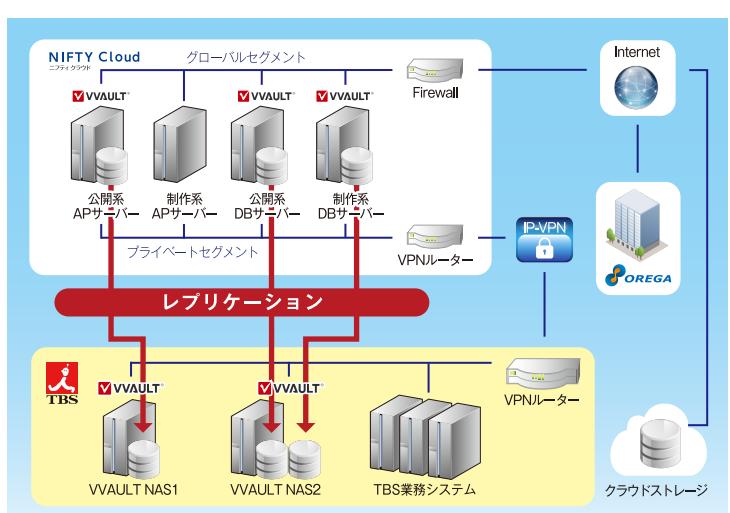
株式会社オレガ
代表取締役社長
三好 修 氏



Solution

「番宣組」の導入で宣伝業務を効率化 安定稼働の実績が採用の決め手

TBSでは長年にわたり、番組宣伝コンテンツの配信を複数のシステムを組み合わせて運用してきたが、増え続けるコンテンツやシステム老朽化が原因でシステムのパフォーマンスが落ち、業務効率を悪化させていた。また、大量のコンテンツのバックアップにも多大なコストがかかるといった課題を抱えていた。そこで、既に複数のテレビ局で導入実績があり、ニフティクラウドを基盤として安定運用を続けていたオレガの「番宣組」を導入するとともに、ストレージ仮想化ソフトウェア「VVault」を適用したバックアップの仕組みを構築。これらの課題を解決し、業務の効率化とコスト削減、安定稼働を同時に実現した。



システムの安定運用の観点から 「番宣組」の基盤に実績のある ニフティクラウドを採用

—「番宣組」についてご紹介していただけますか。

三好氏 テレビ局にとって番組宣伝は、番組の話題性を高め、視聴率を上げるために欠かせない業務のひとつです。「番宣組」はこの番組宣伝業務を支援するシステムであり、社内外の番組スタッフが作成した番組の紹介記事や、番組シーンの撮影写真などを、新聞や雑誌などの各種メディアに自動的に配信する仕組みです。具体的には、Web上での原稿の共同編集や、写真の自動編集、基幹系システムとの連携、ユーザーへの振り分け配信、コンテンツのダウンロード管理、電子透かしの自動埋め込み、コンテンツの不正利用監視などといった機能を網羅しています。

—「番宣組」の導入には、どのような背景があったのでしょうか？

高橋氏 当局では1998年から番組の解説記事などを各種メディアに提供するための記事配信システムを、さらに2004年からは番組シーンの撮影写真などを配信するシステムを運用していました。しかし、個別に構築・運用してきたこともあり、コンテンツの制作を担当している番組宣伝スタッフにとっては、作業が煩雑になりがちで、使い勝手は決して良いものとはいませんでした。加えて、コンテンツは年々増え続け、現在では12TBを超えるまでに。システムのレスポンスも悪化して、処理を完了するまで数十分も待たれたり、システムの不具合が原因で業務が遅延したりすることも少なくありませんでした。また、ランニングコストも高く、システムの刷新が必要でした。そこで、他のテレビ局がどのようなシステムを利用しているのかヒアリングして回ったところ、複数のテレビ局で「番宣組」を利用していて、評判も良いことがわかりました。そこで開発元のオレガさんに問い合わせたのが導入のきっかけです。

—「番宣組」はオンプレミスでも提供可能ということですが、ニフティクラウドをシステム基盤に選ばれた理由を教えて下さい。

高橋氏 今回のシステム基盤の選定では、**ランニングコストをどれだけ抑えられるかが大きなポイント**でした。また、万が一システムが停止してしまった時の業務への影響を考えると、**システムが安定して稼働することも欠かせません**。オレガさんからは、想定される運用期間と運用実績の面からニフティクラウドをご提案いただきました。

三好氏 コスト面でオンプレミスとクラウドを比較すると、**5年間のTCOではさほど差は出ませんが、10年間ではクラウドが圧倒的に有利**になります。今回のような業務システムはある程度の長期運用が想定されますから、クラウドで提案させていただきました。
また「番宣組」は複数のクラウドベンダーからも基盤を選べますが、すでに**複数のテレビ局で安定運用を続けているという実績**があり、蓄積されたノウハウへも信頼を寄せていたため、本件でもニフティクラウドを選択いたしました。



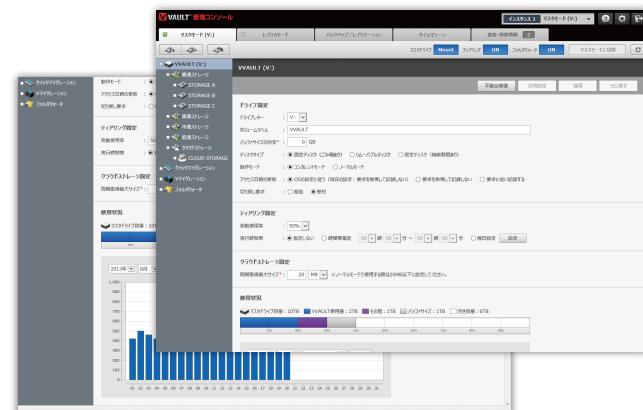
放送局や映画会社の広報宣伝業務を一元管理するPRコンテンツ制作・配信システムです。社内外のスタッフがWeb上で原稿や写真を共同編集し、同時に情報配信を可能にすることで、放送局や映画会社の宣伝業務を強力に支援します。

クラウドストレージと連携した バックアップの仕組みを構築し、 効率化とコスト削減を同時に実現

—ニフティクラウドを採用して、どんな効果が得られましたか？

高橋氏 以前のシステムで課題となっていた**パフォーマンスや安定性は大幅に改善されましたし、コストの点でも満足**しています。さらに、いつでもどこでも使えるようになったのは大きいですね。従来、コンテンツの作成はインターネット内しかできませんでしたが、担当者がロケなどに同行したときに、その場でコンテンツを作成して各メディアに配信できるようになりました。局に戻ってから作業するタイムロスがなくなるため、情報をスピーディーに公開できるようになりました。

三好氏 「番宣組」のベンダーとしては、やはり**高い安定性**ですね。お客様の業務継続性への影響はもちろんですが、**障害が頻発すると対応コストが積み上がり、利益率にも影響**するからです。また、クラウド上で利用する**ソフトウェアのライセンス対応が柔軟な点、複数のソリューションの連携がしやすい点**についてもニフティクラウドに優位性を感じています。例えば、ストレージについては、当社のストレージ仮想化ソフトウェア「VVAULT」を適用することで、利用頻度が低いアーカイブデータやバックアップを安価なクラウドストレージへ移動し、コストを低減しています。



—今後のニフティクラウドへのご要望をお聞かせ下さい。

高橋氏 ストレージの単価がさらに下がれば、活用範囲をより広げられると思っています。また、老舗ISPが提供するクラウドということで、今後も手厚いサポートを期待しています。

—本日はありがとうございました。



Windows上で複数のストレージを統合して仮想ドライブを構築するストレージ仮想化ソフトウェアです。リアルタイムバックアップや遠隔地レプリケーションなどの先進的機能で、システム運用の効率化と業務の継続性を実現します。

導入にあたっての
お問い合わせは



0120-22-1200

受付時間：平日9:00～17:45

携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

ニフティ株式会社

〒169-8333 東京都新宿区北新宿 2-21-1 新宿フロントタワー

※製品名および会社名はそれぞれの会社の商標または登録商標です。

※本インタビューは2015年9月30日に行いました。9月30日現在の情報です。